

承認番号	
研究課題名	幽門側胃切除後の尾側膵切除の安全性に関する検討 -国内多施設共同研究
研究の意義・目的	幽門側胃切除(胃の2/3を切除)の既往のある方で、膵体尾部切除術(尾側の膵切除)が必要になる場合があります。その際、膵切除に伴って残胃の血流が低下するため、残胃炎や残胃潰瘍、胃内容 停滞、胃穿孔などの術後合併症を生じることが知られています。このような術後合併症の発症に影響を及ぼす原因を明らかにすることができれば、より質の高い安全な膵切除、ならびに術前・術後の対応策を講じることが出来ます。本研究で、膵体尾部切除術が残胃に虚血をもたらす要因を明らかにし、今後のより安全な周術期管理および外科療法の改善に役立てたいと考えています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2025年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2009年1月1日から2019年12月31日の間に大阪公立大学医学部附属病院で、幽門側胃切除後の膵体尾部切除術を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等： 患者背景(年齢、性別、身長、体重、Performance Status (PS)、主訴、現病歴、既往歴、生活歴、常用薬、幽門側胃切除術の情報(術式・原疾患・手術日) 血液生化学検査のデータ(血算、栄養状態、肝機能、膵機能、腎機能、腫瘍マーカー) 画像所見(超音波、CT、MRI、内視鏡検査)、臨床経過(症状、現病歴、既往歴、手術術式、合併症の種類、胃虚血の有無、病理組織学的診断、再発の有無と期間、生死の有無と期間)
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関島根大学医学部附属病院肝胆膵外科学に頂いた情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	別紙を参照してください。 <a href="#">共同研究機関一覧はこちら</a>
情報を管理する責任者	島根大学医学部消化器・総合外科学 研究代表者： 田島義証 大阪公立大学大学院 肝胆膵外科 研究責任者： 天野良亮
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 (担当者氏名) 天野良亮 電話番号：06-6645-3841 メールアドレス：ramano@med.osaka-cu.ac.jp